

## 第12回まちづくり町民会議会議録

日時	平成21年1月14日（水）午後7時～午後9時			
場所	会津美里町役場高田庁舎 北第3会議室			
出席者数	委員 7名参加			
委員	氏名	氏名	氏名	氏名
	石川栄子（座長）	荒井弘之	塩田光顕	佐藤国男
	片山玲子	渡辺秀造	野中憲子	
事務局	総合政策係長	木崎 稔	総合政策課	榎森正典
	総合政策課	渡部朋宏		

### 1. 開会

### 2. 座長あいさつ

### 3. 協議事項

（仮称）会津美里町みんなの声をまちづくりにいかす条例案の検討

#### 【意見交換】

（委員） 参加条例には「住民自治の実現」と「町民参加制度の保障」の2つの観点が必要だが、この条例では「町民参加制度の保障」しかふれられていない。まちづくりにおいて重要な役割を果たすボランティアやNPOなど既存の組織との「協働」についても記載すべきではないか。

（座長） 今回策定する参加条例の範囲をどこまでにするか、根本的な問題である。

（委員） 町民参加にとってボランティア活動は欠くことのできないものではないか。

（委員） ボランティアについては自主的な活動という位置づけであり、参加条例に記載するのはどうか。

（委員） 我々も当初は町民参加の活動について議論する会議と思っていたが、検討経過の中で、町民の意見反映のための条例制定という認識に変わってきている。

（委員） まちづくりについて検討を進めれば、自治基本条例やボランティア活動、協働のあり方についても当然議論が必要となってくる。ただし、取組みの第一歩として「行政活動への町民参加」を規定することは適当ではないか。

（座長） 今回の条例は行政活動への町民参加へ絞ったものとし、提言の中でボランティア活動の必要性についても盛り込むこととする。

（委員） 行政活動への町民参加を規定するのであれば条例のタイトル「みんなの声をまちづくりにいかす条例」についても再検討が必要だろう。

（委員） 合併して3年が経過し、一体となってまちづくりに取組もうとしていることから、合併前の旧町村名は記載する必要はないのではないか。

（委員） 合併前の町村名を記載するのであれば、その前の合併（昭和の合併）の旧町村名も記載する必要もある。

- (委員) それぞれの町村の歴史を踏まえて、合併前の旧町村名は記載してもよいのではないかと。
- (座長) とりあえず、旧町村名を記載しないこととして修正する。
- (委員) 美里町の自然豊かな美しい町であるが、一方で環境の悪化や耕作放棄地の増加といった現状もある。これ以上悪化させないためにも、こういった現状を記載してもいいのではないかと。
- (委員) 「自然」という文言を追加することによって、意図することは補えるのではないかと。
- (委員) 「地方自治の進展～」については削除すべき。
- (委員) 「行政活動の透明性」「意思形成過程」等の文言は分かりやすいものに修正すべき。
- (委員) 目的にある「地方自治の本旨」についても、記載すべきかどうか検討が必要。～次回の検討課題とする。

#### 4．その他

##### (1) 次回のまちづくり町民会議

日時：平成21年1月28日(水)午後7時～

議題：条例案の検討

##### (2) アドバイザーを交えた意見交換会の開催

日時：平成21年2月11日(祝)午後2時～

アドバイザー：福島大学行政政策学類 今井教授

#### 5．閉会

## 前文

- 私たちの町は、緑あふれる森林と田園風景が広がる自然豊かな美しい町です。
- 私たち町民は、みんながこれまで育んできた自然や伝統・文化を大切にしながら、次の世代へ継承していくとともに、未永く安心してこの町に住み続けていくことを望んでいます。
- そのために私たちは、自らの選択と責任に基づき、地域が持つ資源を活用し、身の丈にあった町民主体のまちづくりを進めて行かなければなりません。
- このような町民主体のまちづくりを進めるためには、行政のもつ情報の積極的な公開を進めるとともに、町民が行政活動に参加する仕組みづくりが必要です。
- 町民の声をいかしたよりよいまちづくりの実現に向けて、行政活動への町民参加の具体的な取り決めにまとめた「会津美里町みんなの声をまちづくりにいかす条例」をここに作りまします。